未来 考えた

女子高生「うそだらけの政府が勝手に決めるな」

街頭マイク

■シールズ関西

関西の学生でつくる「SEALDs KANSAI」（シールズ関西＝自由と民主主義のための関西学生緊急行動）は21日夜、毎週金曜日に行っている戦争法案に反対する街頭宣伝を行いました。大阪・梅田のヨドバシカメラ前に約1500人が集まり、学生らが「おかしいことに声を上げよう」と訴えました。

学習院大学の佐藤学教授、京都精華大学の白井聡専任講師、思想家の内田樹さんらがマイクを握りました。

女子高校生4人組はツイッターなどで知り合い、宣伝に参加。ふきさん(15)は「戦争はたくさんの命を奪う。うそだらけの政府が勝手に決めるな」。なるなるさん(16)も「私たちが見ても、政府の答弁はうそだとわかる」ときっぱり。あやたかさん(18)は「人間の尊厳を奪うような政治になってる。これじゃあ、将来、安心して子どもが産めない」。かずさん(18)は「権力者の発言は責任が重い。安倍さんは、若い人の未来を考えて発言して」と話しました。

戦争法案に反対する街頭宣伝に集まった人たち＝21日、大阪市

〝行動本物〟

■新潟

新潟県内の若手弁護士や青年9条の会などの実行委員会「にいがたデモクラシークルー」が呼びかけた戦争法案反対のデモ行進が22日、新潟市で行われました。乳母車を引いた若い母親など、100人が参加しました。

連帯して新潟県立大学の福本圭介准教授が「若い人が声を上げにくい社会の中、声をあげているのは深い意味がある。自分の殻を破っていることに胸を打たれ、力を感じる。安倍首相は、みかけの屁理屈で物事を通そうとしている。若い人の本物の行動を信じて、寄り添って一緒に頑張ろう」と呼びかけました。

東京から帰省した成宮アイコさん(32)は「国会前のデモには毎週参加している。今日もじっとして居られず参加した。安倍首相が言うことはおかしいことばかり。自民党の国会議員の発言も許せない。東京に戻ったらまたデモに参加します」と語っていました。

青年たちが声をあげたデモ行進＝22日、新潟市

8/23
赤旗